

布 教 団

布教団連合「活動方針・重点目標」にかかる 2026(令和8)年度【大阪教区布教団】具体策計画書

1. スローガン

「ともにお念仏申す身となる」

2. 活動方針

『顕浄土真実教行証文類』を基軸とするお聖教を抛り処に、その教えによって、本願名号を聞信し、ともにお念仏申す身となり、あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、もって自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。

重点目標 (「宗務の中期計画」注力施策)	注力施策	取り組み(手段)	数値目標または マイルストーン(中間目標)
(1)資料の活用と布教線の拡充 ((4)ご法座活動の充実) 「布教使アンケート調査結果報告書」、 「布教線拡充に資する提言書」、「法座活動に関するアンケート調査結果報告書」を各教区布教団で活用し、一般寺院における常例布教(法座)開設または継続を奨励し、布教線の拡充につなげる。	①資料の活用 ②布教使派遣制度により、各寺院におけるの伝道を活性化。	①教区 Web サイトへ掲載 ②より簡潔・明確に広報を実施	①準備が整い次第、速やかに掲載 ②前年度よりも派遣増をめざす
(2)「時代に即応する伝道」の調査・研究と「これからの時代の布教伝道を担っていく方」の育成 ((2)勉強会・学習会などへの参加奨励及び伝道教化資料の作成と研修の充実、(4)ご法座活動の充実) 全員聞法・全員伝道の伝道教団として、一人ひとりが時代に即応する伝道を実践するため、これまでご縁のなかった方との接点となる通夜・葬儀・法事における法話研修を企画し、布教内容について調査・研究を行う。また、これからの時代の布教伝道を担っていく方の育成を担い、もって全寺院における法座活動が活性化するように取り組む。	①「時代に即応する伝道」についての布教使研修会を開催 ②「これからの時代の布教伝道を担っていく方」の育成	①各種法事等仏事における法話の内容に資する研修会を実施。 ②これまでご縁がなかった方との接点になる「青年布教使研修会」を通じて青年布教使を育成	①研修会(全1回)を開催 ②「青年布教使研修会」(全1回)。 上記研修会を開催するに際し、通夜・葬儀・法事における法話学習会を実施。一般寺院・各住職も参画するようめざす

重点目標 （「宗務の中期計画」注力施策）	注力施策	取り組み（手段）	数値目標または マイルストーン(中間目標)
(3)布教使研修会及び学習会への参加 （(2)勉強会・学習会などへの参加奨励 及び伝道教化資料の作成と研修の充 実） 連区・教区等の研修等に参加し、布教使として常に自らの研鑽に努める。また、浄土真宗の伝道は「阿弥陀如来の本願を聞く」ところから始まる。布教使はまず宗義を中心に据え、教学的基盤を明確にするため各地で開催の「学習会」の情報を共有し、参加を促す。	「聞法の集い」の開催と参加奨励	案内・開催方法等、前年度より、さらに良くするように工夫する	「聞法の集い」（全2回）を開催
(4)「実践運動」の推進 念仏者として他者の苦しみを自らの苦しみとすべく、宗門内外の差別・人権問題に関する研修へ積極的に参加し、部落差別をはじめ、あらゆる差別・被差別からの解放をめざし、「御同朋の社会をめざす運動」(以下「実践運動」という)を全布教団員が強力に推進する。	布教団員に実践運動大阪教区委員会「研修会」へ参加奨励	研修会案内を布教使研修会等と案内を同封郵送する	注力施策に基づいた研修会に参加
(5)「子どもたちの笑顔のために募金」の奨励、協力 実践運動を推進するうえから、全布教団員が宗門全体の実践目標である「＜貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～＞-子どもたちを育むために-」の取り組みの一環である「子どもたちの笑顔のために募金」の奨励、協力を行い、あらゆる人びとが心安らぐ平和な世界の実現に向けた支援を行う。	①趣旨を周知 ②募金の奨励	①別院内募金箱へ協力 ②布教団員は布教現場で趣旨を広報	周知できているか、布教使研修会でアンケートを実施
(6)平和への取り組み 戦後80年にあたって、念仏者としての具体的な取り組みを検討した「平和に関する論点整理（戦後80年版）」で提言された7つの平和貢献策より平和への取り組みを行なうこと。さらに、布教現場において時代の常識に流されることなく、浄土真宗のみ教えに基づき非戦・平和の思いを伝える。	布教団員に実践運動大阪教区委員会「研修会」へ参加奨励	研修会を受け「平和に関する論点整理（戦後80年版）」で提言された7つの平和貢献策より平和への取り組みを各自が行うとともに、布教現場に生かす取り組みを实践する	注力施策に基づいた研修会に参加

行事計画

期 日	事業内容	場 所	備 考（敬称略）
6月11日(木)	総 会 布教使研修会 ①	津村別院	講 師：内藤 昭文さん（本願寺派勸学） 講 題：世の中安穏なれ、仏法ひろまれ ～仏教徒として平和を考える～
8月26日(水) ～27日(木)	第3連区 布教使研修会 （京都教区担当）	顕道会館	講 師：寮 美千子さん（作家） 花岡 静人さん（本願寺派布教使） テーマ：ともに一念仏申す身となる サブテーマ：いのちの共感を通して
10月17日(土)	布教団聞法の集い ① （津村別院土曜講座に併催）	津村別院	指 導 講 師：中西 昌弘さん（副団長） 布教実演者：未 定
1月26日(火) もしくは 27日(水)	第3連区 青年布教使研修会 （奈良教区担当）	未 定	講 師：武田 正文さん （臨床心理士、広島大学客員講師） 根来 暁さん （安芸教区東広島組西福寺住職） テーマ：ともに一念仏申す身となる サブテーマ：仏教× AI の可能性と課題
2月13日(土)	布教団聞法の集い ② （津村別院土曜講座に併催）	津村別院	指 導 講 師：味府 浩子さん（副団長） 布教実演者：未 定
2月16日(火)	布教使研修会 ②	津村別院	講 師：池平 紀子さん（大阪公立大学教授）
未 定	青年布教使研修会 ①	津村別院	内 容：未 定
未 定	青年布教使研修会 ②	津村別院	内 容：未 定
未 定	青年布教使研修会 ③	津村別院	内 容：布教大会

☐ 役 員 会：随時開催

☐ 研修部会：青年布教使研修会の企画・実施を目的として随時開催

☐ 第3連区布教団事務担当者・青年布教使代表者会議：5月25日(月)【京都教区担当】

☐ 布教使派遣制度の実施：ご法義相続と寺院振興（15ヵ寺見込）（100～101ページ）

☐ 布教使任用記念品

〔10年《11》・20年《10》・30年《1》・40年《4》・50年《2》・60年《1》〕 年対象者（29名）へ贈呈

☐ 本山常例布教出講者

寺本 正尚さん（中島組 萬福寺）4月10日(金)昼～13日(月)朝

宮部 雅文さん（島中南組 誓覚寺）8月19日(水)昼～22日(土)朝

山上 正尊さん（天野南組 旭照寺）11月4日(水)昼～7日(土)朝

大野 孝顕さん（大阪北組 正宣寺）12月22日(火)昼～25日(金)朝

寺西 覚水さん（大阪南組 正覚寺）3月4日(木)昼～7日(日)朝

☐ 布教使任用者（5月1日付任用）：中村 有希さん（川北組光明寺）、小森 大樹さん（讃良組光円寺）、
竹林 存さん（交野組誓願寺）、深川 樹哉さん（大阪北組永照寺）、
高藤 大空さん（榎並組善立寺）、森 敬信さん（阿倍野組蓮光寺）

☐ 布教使任用者（11月1日付任用）：未 定

2026(令和8)年度

大阪教区布教団 布教使派遣制度実施要項

1. 目 的

寺院における常例布教（法座）の開設または継続を奨励します。

また今日、法座活動が困難になっている状況に鑑み、教区内全寺院を対象として、経験豊富な布教使の斡旋・派遣を行います。これにより、各寺院におけるご法義相続と寺院の振興を図ることを目的とします。

2. 対 象

教区内全寺院、年間15ヵ寺対象（先着順）

3. 法座内容

一般寺院で開催される法座全般

※年1回1日のみ（2座以内）派遣先は1ヵ所のみとします

4. 出 講 者

大阪教区布教団員

（大阪教区布教団役員会にて出講講師の選定を行います）

※寺院から布教使の指名はできません

5. 事務手続

①当該寺院より大阪教区布教団事務局へ開催3ヵ月前までに事務局までご相談をください。

また、派遣希望日を2案以上設定ください。必ずしも希望に添えない場合があります。

※原則、1会計年度内に開催する法座のみ受付します。

②出講内定者及び日程を当該寺院へ連絡いたします。

③当該寺院より申請書【2】（101ページ）を提出 ※開催日の2ヵ月前までに申請（申請後のキャンセルはご遠慮ください。）

④開催後、1ヵ月以内に当該寺院より「開催報告書【3】」（102ページ）を大阪教区布教団宛提出してください。

※出講布教使よりは別途「出講報告書」の提出があります。

6. 経 費

布教使出講経費（謝礼・交通費）については大阪教区布教団が負担いたします。

7. 備 考

（1）組主催行事、組教化団体行事は対象といたしません。

（2）制度には限りがありますのでご希望に添えない場合があります。なお、全寺院対象の制度であり、広くご利用いただくために2会計年度続けての申請はご遠慮いただきますようお願いいたします。

以 上

20 (令和) 年 月 日

大阪教区布教団長 様

(申請者) 組 寺 ⑩

大阪教区布教団 布教使派遣制度申請書

記

今般、当寺にて_____を開催するにあたり、布教使派遣方申請いたします。

1. 開催日時 20 (令和) 年 月 日

時 分 及び 時 分

2. 会 場 <会場名>

<住 所>〒 -

<TEL> _____

3. 日 程 表 別紙添付

4. 申請理由 _____

以 上

開催報告書

(令和) 年 月 日

大阪教区布教団長 様

(報告者) 組 寺 ⑩

今般、大阪教区布教団布教使派遣制度により法座を開催いたしましたので、下記の通り報告いたします。

開催期日	(令和) 年 月 日
開催場所	当 該 寺 ・ その他 ()
講 師	
参拝者数	名
今回の感想 と 今後の法座活動に むけた思い	

事務局受付欄	
月 日	⑩ (個人印)

〈2026(令和8)年度 書式〉